

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史

那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3 階

沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20220406

22 期 No.27

《部内資料》

沖縄全県自治体キャラバン 2021 終了

8 月 6 日（東村）から 3 月 30 日（竹富町）まで

史上最高数の 31 自治体と懇談

離島 3 自治体（宮古島市、与那国町、竹富町）とは初開催

自治体アンケート 2021 は 40 市町村が回答

参加者（行政あわせて）600 名超

コロナ禍の住民福祉施策を交流

ご協力ありがとうございました

8 月 6 日 AM 東村

8 月 19 日 PM 沖縄市

8 月 23 日 PM 那覇市

8 月 24 日 PM 北中城村

8 月 25 日 AM うるま市

8 月 25 日 AM 宜野湾市

8 月 26 日 PM 西原町

8 月 31 日 AM 与那原町

8 月 31 日 AM 豊見城市

8 月 31 日 PM 南風原町

9 月 1 日 AM 宜野座村

9 月 7 日 PM 国頭村

10 月 21 日 午後 北谷町

10 月 26 日 午後 嘉手納町

10 月 27 日 午前 糸満市

10 月 28 日 午前 大宜味村

10 月 29 日 午前 今帰仁村

11 月 2 日 午後 名護市

11 月 4 日 午前 中城村

11 月 5 日 午前 恩納村

11 月 5 日 午後 金武町

11 月 12 日 午後 八重瀬町

11 月 19 日 午前 浦添市

11 月 22 日 午後 県庁

11 月 24 日 午後 与那国町

12 月 23 日 午前 読谷村

1 月 14 日 午後 南城市

2 月 4 日 石垣市

2 月 7 日 宮古島市

3 月 25 日 宮古島市（国保）

3 月 30 日 竹富町

☆2022 年 4 月から

子どもの医療費助成制度

県全域で少なくとも中学卒業まで現物給付で無料化

こころより感謝申し上げます

引き続き、少子化対策、子育て支援のためにペナルティ全廃と 18 歳まで国の無料制度を求めていきましょう



自治体キャラバン 2021 竹富町懇談報告

◇日時 2022年3月30日 午後3時—3時30分

◇会場 オンライン

◇参加者

竹富町出席者
 福祉支援課子育て支援係 津嘉山
 教育委員会教育課 南風原
 健康づくり課 上野
 健康づくり課 金城
 健康づくり課国保係 宇根
 福祉支援課子育て支援係 大竹
 福祉支援課 あら
 福祉支援課福祉係 黒島
 政策推進課 今井 以上9名

県社保協出席者
 沖縄医療生協本部 島袋(司会)
 県社保協事務局長 高崎(国保、子育て支援報告)
 沖縄協同病院事務次長 屋良(介護報告)
 沖縄県医労連 真栄城 以上4名

◇内容

挨拶(高崎県社保協事務局長)

年度末すれすれのところ実施できて本当に良かったです。去年も今年もコロナで、大変なことになっていまして2020年度も、本島内だけとはとにかくやろうということで26自治体は回ったんですけど、離島は回れずに、石垣市も宮古島市も去年は回れなかった、今年も去年と同じように厳しいスタートになったんですが、もうオンラインに切り替えようと、8月に東村からオンラインでスタートして、そして今年は、与那国町さんとも石垣市さんともできて、宮古島市は実は初めてでした。合わせて今日が31自治体目ということで、社保協の自治体キャラバンとしては、過去最高の数の自治体の皆さんと懇談ができることになりました。コロナで本当に厳しい嫌なことが多かったんですが、オンラインでたくさんの方と繋がれたということはよかったですと思っています。今後もオンラインでお話が続けられたらいいかなと思っていますので、どうかよろしく願います。以上です

1. 国保について (高崎県社保協事務局長)

今、本当に国保は大変な状況になってまして、財政が厳しい中ですが、国保の加入者の生活も大変厳しいということで、コロナの国保料特例減免が行われました。竹富町も観光収入が激減して大変なことになってるんじゃないかと思うんですけども、資料集 11 ページに手遅れ死亡事例調査の紹介がございます。高すぎる保険料や窓口負担で受診をためらって、亡くなった方が 40 名いらしたということです。やはり正規の保険証があっても手遅れとなって亡くなる方が出てきている、というのが最近の特徴になっております。是非相談支援の中でこういった事例がおきないように、ご留意をいただけたら、という思います。

国保大会「市町村国保の構造的問題」「負担率が高い」

国保のこうぞう

それでは要請内容に入ります。まず第 1 番目の市町村国保についてということで何よりも共有させていただきたい問題は、国も認めている市町村国保の構造的問題についてでございます。資料集で 26 ページ。これ、あの国保大会、これは全国知事会も、市長会も、町村会も入ってるので、皆さんの代表の方も参加して、開かれている国保大会なんですけども、宣言の 1 番上のところをですね。ちょっと読んでみたいと思いますけど、「国保制度創設以来、わが国の国民健康保険体制の中核を担い地域医療の確保や地域住民の健康の維持増進に貢献してきた。しかしながら、中高年齢者が多く加入し、医療費が増加する一方、被保険者の所得水準が低く保険料の負担率が高いという構造的問題を抱えている。このため、市町村においては被保険者にこれ以上負担を求めることは極めて困難であり、厳しい財政運営を強いられている」ということで、宣言や決議では国の財政支援拡大とかですね。後期高齢者医療の窓口負担についても配慮すべきそういった国保の制度運用についての提言がなされてますが、竹富町の考えとしても、この国保大会の内容は後押しできるものだ、ということで考えてよろしいでしょうか。

コロナ特例減免を実施 (健康づくり課上野)

竹富町としてもコロナ減免に関しては実施をしているところです。

令和 2 年度においては、対象者 58 名 3 年度においては 17 名。またコロナ傷病手当も 3 年度で 1 件発生しているところでございまして、確かにコロナ禍でかなり収入減といった所得が減った世帯っていうのは、令和元年に比べたら 2 年 3 年と非常に厳しくなっていると感じています。今後もコロナ減免に限らず、通常の減免申請も受け付けていますので、その辺ではしっかりと被保険者の相談に乗っていくように、窓口の方でも対応しているところです。

44 条減免周知はいかがでしょうか？ (高崎)

ありがとうございます。あの本当に国保は厳しい状態になっていて国保税も全国的に上がってきてるんです、アンケート結果の 18 ページが市町村の国保税の金額ですけども、竹富町さんの場合で、63 歳、単身世帯で 35 万 8600 円、4 人家族で 43 万 8200 円と頑張っていたらいいんですけどもこのアンケートの中では、全体の 15 番目で真ん中よりちょっと上です。ただし、離島の町村の中では 1 番高い金額になるんですね。どうしても、所得の関係とか色々あって、高いところが出てきてしまうんですが、一つはしっかり、減免をしていかないといけないと思います。コロナ減免が次のページで合わせて、1000 万近くですね、938 万円のコロナ減免やっただいてらるんですね。63 件になってますで、頑張っていたらいいと思うんですけど、一方で、全県的にもそうなりそうなんですが、国保法 44 条の一部負担減免は 0 件になってるんですね。44 条減免は周知はどんな感じになってますでしょうか。

要調査です⇒後日回答でお願いします

高すぎる国保税引き下げを

1 つ気になってるのは、やっぱり相対的に国保税ってどこも高いんですけど、やっぱり竹富町も高いのは高いんですよ。

その中で法定外繰り入れを0にしてるんですよ。ここら辺は下げるために、法定外繰り入れは必要では。決算は黒字なんですよ。もうちょっと下げる。何か次の手立てとか考えてらっしゃらないかなっていうのが気になったんですが、いかがでしょうか。

国保統一の流れで上がりそうです (竹富町より)

特に国保税を下げるっていう方向は、今考えてはいないんですけど、あと県の方で統一化に向けて話が進められてるところなんです。それによってやっぱり竹富町もだいぶ上がるとか、そういう風な試算に出されていてそうなると、保険税必然的に上げざるを得ない状況になっていくのか、保険税下げることは話は上がっていません。

国保統一は慎重に 竹富町からもご意見を

はい、ありがとうございます。私どもとしては、やはり住民生活が大変厳しい中で、国保料も上がる。介護保険料も上がってきてるんです。これでは、住民生活の持続可能性の方が、だんだん厳しくなっていく。国保統一については、決めてない県が多い。全国では15都道府県しか期限を決めてない、沖縄みたいに、医療格差とか所得格差が2倍も3倍もある県で、なぜそんなに急がなきゃいけないのか？ 県庁には毎回も言っていて、県庁はあの反対があればやらないと言ってるんです。ただもう完全統一で、2024年統一ってだしてるので、私どもはこれは拙速にするなど市町村からも県に対していってほしい、医療費のアルファ値0で行きますから、(医療費考慮しない)得をするところも損をするところもできます。医療費があまりかかってないところは、ものすごい値上げになります。これは非常に不条理な統一だと思いますので、是非意見をあげていただきたいと思います。

2. 子育て支援について (高崎)

子育てについては、医療費と学校給食と生理の貧困についてに絞って、少しお話したいと思うんですけども、こどもの医療費は、全県で4月から通院も中学校卒業まで現物給付ということで竹富町の方でも準備されていることと思います。また、私どもが、「18歳まで国の制度で無料化を」というアピールを呼びかけたところ、町長さんにも賛同いただきありがとうございました。ペナルティーの計算とか、これ半分県が持ってくれるようですけど、計算もされてますでしょうか。

⇒後日調査をお願いします

県庁に確認したんですけど、ペナルティは半分県が負担してくれるそうです。だいぶ、楽になるかとは思いますが、ただペナルティー自体がおかしい。子どもの医療費無料化したらなぜ国保交付金にペナルティーかかるのか。ペナルティー廃止に向けた運動に引き続き協力をお願いしたいと思います。それともう1点は、中学校卒業までの現物給付を、4月からやられると思いますけれども、やはり1年やってみて、18歳までの試算していただきたい。全国では18歳までも確実に進んでいて早々に全国過半数を超えていきます。今、もう40パーセント超えていますから、沖縄県でも11自治体がやっています。ぜひ、シミュレーションですね。18歳無料化でどのぐらいかかるか計算をお願いしたいと思います。

続いて、学校給食のところは、アンケートの回答が「その他」となっていたんですけど、どんな制度か教えていただけないでしょう。

竹富町回答

準要保護家庭対象に給食費全額補助しています。全体で60名の子どもたちに補助しています。

(これは就学援助とは別枠なんですか。)⇒就学援助です

生理の貧困対策拡充を (高崎)

あともう1点。生理の貧困について、トイレ等への生理用品の設置置ですが自治体アンケート回答で、「実施する予定」と回答ありました。実施具体化になりましたでしょうか。

竹富町回答

生活推進課から生理用品の無償配布を11月に小学校4年生以上全員に一個ずつ学校で配布してもらっています

3. 介護保険について (沖縄協同病院 屋良次長)

こんにちは、沖縄協同病院の屋良です。よろしくお願ひします。介護保険の部分で話していきたく思います。資料集 66 ページをご覧ください。

下の方のスライドなんですけども介護保険がスタートして 20 年マスコミの調査ですね。読売新聞と共同通信です。全国の都道府県庁所在地と、政令市、中核市、東京特別区の 106 自治体へ、介護保険制度のことについてアンケートをとっています。この中で介護保険制度が今後 10 年、現行の制度のままで維持できるかという設問に対して、もう 90 パーセントを超える自治体が「困難」というアンケート結果が出ています。少し下の方に介護保険制度の維持存続についてというところも 50 自治体の中で 49 自治体が、制度の維持、存続について危惧しているという調査結果が出ています。問題点としては、人手不足、あと費用の膨張、財源の確保というような形になっているのが全国的などこでも限らずですね。同じような結果になってるんじゃないかなと思います。

竹富町さんの介護事業、介護保険サービスあと総合事業ですね。実施状況等を少し教えてください

介護サービスは不足している状況 (竹富町より)

介護サービス不足しているところが多いのですが、町内では波照間島に小規模多機能施設、西表島に特別養護老人ホーム、小浜島は民間のデイサービス一か所、竹富島、黒島に社協がデイサービス。全体的にも必要なサービスがあるかっていうことを、その辺はちょっと不足している状況かな、と感じています。

(総合事業とかはどうですか。)総合事業に関しても、その事業者さんにそのまま対応していただいているってところとあとは今年度から始めて通所のほうが西表の東部地区で一か所始めているところでは

(屋良)

はい。ありがとうございます。介護職の人手不足とかはどうでしょうか。

(竹富町より)

そこもやっぱり全体的に人手不足は分かっています、現地でスタッフを探したいっていうのはあるんですけどもそれが難しいので訪問系などは石垣市の事業所に頼っています。

要介護 12 の市町村事業へ移行について (屋良)

はい、ありがとうございます。おそらくどこの地域でも介護職は足りていないっていうところで今回、自治体キャラバンで各市町村回らせてもらってる中であったのが、実務者研修ですね。無資格の方が資格を取って、通信教育とかを使ってやるやつですけども、それを自治体さんの方で公募してやっているところも結構ありましたので、もし活用できそうであれば、活用してもらえればなと思います。自治体アンケート報告の 51 ページ、要請書の回答のところにもあるんですが「要介護 12 の生活援助サービスを市町村の総合事業へ移行させないよう要請してください」という要請に対してですね、竹富町さんは、「要請しません」と返答をいただきました。この 51 ページを見たら少しわかるんですが、大多数の自治体さんが「移行させるべきではない」というところで「要請をしていきたい」という回答が多かったもんですから、「要請しません」という回答に理由等があったら少し教えていただければと思います。

要請できるところはやっていきたい (竹富町)

竹富町としても介護保険から移行されると多分厳しくなると思うので、その辺は市町村や県も参考にしながら要請できるところはやっていきたいと思っています。

介護保険利用料原則 2 割負担について (屋良)

わかりました。ありがとうございます。ということは、この部分については、総合事業へ移行していくことは、竹富町さんとしてはちょっと困るよ、というご意見でいいですか⇒はい

ありがとうございます。回答用紙があるんですけども、その中にですね介護の項目がありまして、今の総合事業へ移行させないっていうのは、すべきじゃないということで、ありがとうございます。で、他にもですね。いくつか項目があって、介護保険利用料の原則 2 割負担への引き上げを行わないように要請してくださいという項目があって、そこも「要請しません」にチェックがついてるんですね。これはどうでしょうか

(竹富町より)

また確認してみますが、原則 2 割負担も皆さん苦しくなると思うので、要請できるところはしていきたい

(屋良)

はい。ありがとうございます。もしかしたらですねこの要請書の回答用紙に記載されている部分がちょっと間違っていて記載されている可能性もあるかなって思うんです。またできましたら、もう 1 度、チェックをお願いします。

⇒後日点検をお願いします

どうしても限られた介護サービスの提供

初任者研修は継続してやっていきたい (竹富町福祉支援課あらさんより)

介護サービスがこの島で十分に提供できるかといえばそうではなくて、限られた介護サービスの提供となっています。島でできないので石垣市の事業所が船で通って、訪問だったりリハビリだったり、頼って提供してきて船の時間もあるので、朝の早い時間、また夜、夕方の遅い時間っていうのが、どうしても介護サービス提供できないできていないっていう部分があります。その中で介護人材不足っていう中で、町内で人材を育成できるかっていったら、初任者研修を何回かやってはいるんですけども、これ以上従事はしていただけない。この仕事だと、仕事としてできないっていうことになって、やっぱり人材不足っていうのは、ずっとあります。でも、今後、自分のためにも自分の家族のためにもってということで、初任者研修は継続的にやれる範囲でやっていきたいと思っています。なので、そのやっぱり原則 2 割負担の引き上げっていうのは、やっぱり今でもその介護サービスが思うように提供できないっていうことで、(聞き取れず)かなっていう風に、私は考えています

(屋良)

はいありがとうございます。私、実はリハ職で作業療法士という職種なんですけども、県の職能団体から離島の方に訪問リハビリの支援という形で私も行ったことあるんです。そういった形で、また、本島と離島とそういう繋がり持てるようなものがまた作ればいいと思っていますので、またぜひ色々ご意見、お聞かせください。ありがとうございます。

5. まとめ

思った以上に時間が早く過ぎてまして、お互い、おそらく言い足りないこともたくさんあったんじゃないかなと思います。また、今井さん通じてでも要望とか、ご意見とか、いただければ私ども、定期的に県庁ともお話をしておりますので是非伝えていきたいと思います。今年度これで終わりなんですけれどもまた、来年度は秋ぐらいに予算編成の時期に、全市町村、離島も含め全部オンラインで回れたらと思っています。その際にはもう少し、ゆとりのある時間とっていただいて、本当に懇談がじっくりできるようにできたらいいなと願っております。本当に貴重なお時間年度末の大変な時に割いていただき感謝を申し上げます。ほんとにありがとうございました。

後日調査や回答をお願いすること

- ① 国保法 44 条の一部負担減免の周知について
- ② 子どもの医療費現物給付にあたって、令和 4 年度の国保のペナルティ金額の予算(推計)
- ③ 介護保険改善要請の回答内容の点検

要介護 12を市町村事業へ移行反対⇒要請する

介護利用料原則 2 割負担反対⇒要請する

その他の項目も点検をお願いします